

令和4年度
第1回杉戸町環境審議会会議録

期 日 令和4年7月28日（木）
場 所 杉戸町環境センター 2階会議室

会議録様式

審 議 会 名	令和４年度 第１回杉戸町環境審議会
開 催 日 時	令和４年７月２８日（木） 午前１０時００分～１１時２５分
開 催 場 所	環境センター ２階会議室
会 議 の 議 題	（１）会長・副会長の選出について （２）杉戸町環境基本計画第４期実施計画 実施状況に関する報告について （３）「第２次杉戸町環境基本計画」の策定に関する報告について
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 （公開の場合傍聴者数 １人）
	（非公開の場合理由）
出席委員氏名	藤城一巳 早乙女行雄 木村芳裕 奥山あき子 木村三樹男 金子亮 坂本正博 佐藤杉弥 戸賀崎邦雄 遠藤清 中村和孝
審 議 の 概 要	・別紙のとおり。

令和4年度 第1回杉戸町環境審議会

審議会開会・閉会の日時		令和4年7月28日（木） 午前10時00分～11時25分			
議事名		(1) 会長・副会長の選出について (2) 杉戸町環境基本計画第4期実施計画 実施状況に関する報告について (3) 「第2次杉戸町環境基本計画」の策定に関する報告について			
委員の出席について	職名	氏名	出席状況	氏名	出席状況
	1号委員 (関係団体を代表する者)	藤城 一巳 早乙女行雄 木村 芳裕 奥山 あき子	出席 出席 出席 出席	木村 三樹男	出席
	2号委員 (関係行政機関の職員)	金子 亮	出席		
	3号委員 (識見を有する者)	坂本 正博 秋元 智子 佐藤 杉弥	出席 欠席 出席	戸賀崎 邦雄	出席
	4号委員 (環境保全に関心の高い者)	遠藤 清 中村 和孝	出席 出席		

	役職名	氏名	役職名	氏名
説明者	環境課長	小野寺 満	環境課 主幹	金井 真司
			// 主査	岩瀬 正治
			// 主事	橋本 和幸
事務局	環境課長	小野寺 満	環境課 主幹	金井 真司
			// 主査	岩瀬 正治
			// 主事	橋本 和幸

発 言 の 内 容 ・ 説 明 等

議題（１）会長・副会長の選出について

- ・杉戸町環境基本条例第 19 条第 6 項により、委員の互選による選出を実施した。
- ・委員より意見がなかったため、事務局（案）として会長を坂本正博委員、副会長を木村芳裕委員とすることを提案した。
- ・各委員より承認を得たため、会長は坂本正博委員、副会長は木村芳裕委員に決定した。

議題（２）杉戸町環境基本計画第 4 期実施計画 実施状況に関する報告について

- ・事務局より杉戸町環境基本計画第 4 期実施計画 実施状況の内容について説明した。

・質疑応答・意見要望

質問 評価は各課の自己評価によるものか。

回答 各課で評価を行っているものである。

要望 環境課が各課へのヒアリングを行い、評価をしていくような第三者的な評価をすることで町民にも伝わりやすくなると考える。

意見 環境課の評価は厳しめについているが、他の課に関しては、評価が甘いように感じる。

質問 実施報告は町民にどのようなかたちで見えるようにしているのか。

回答 環境審議会での報告にとどまっている。

要望 意見聴収までいくと大変だと思うが、委員の中でも評価に関して意見が出ているので、町民にも見ていただいた方がよいと考える。

議題（３）第２次杉戸町環境基本計画の策定に関する報告について
・事務局より第２次杉戸町環境基本計画の策定に関する内容について説明した。

質問 環境目標１の環境指標「樹林面積」について、1,082 ㎡とあり少なすぎるように感じる。第２章の前計画の評価では 44ha となっているため、数値が間違っているのではないか。

回答 前計画の評価における樹林面積に関しましては、林冠が幅 20m 以上で、およそ 0.10ha 以上の樹林の合計面積としておりましたが、環境目標１の環境指標「樹林面積」に関しましては、町の方で指定している指定樹木・指定樹林の面積としているため数値が異なっている。

質問 環境目標３の環境指標「生物化学的酸素要求量（BOD）測定結果」について、目標値が現状値よりも悪化するような目標となっているがどのような理由か。

回答 現状値の段階で、指定されている河川の類型Ｂにおける基準値を満足しているため、今後も基準値を満足した値を継続していくという目標値としている。

要望 現状の記載方法では、悪化してもよいというようにとらえられる可能性があるため、表現を見直した方がよいと考える。

要望 SDGs についても併せて表記されていますが、現状の環境指標の目標値の設定はフォアキャストによる設定になっており、2030 年に目標を達成していくためには、取組が遅いと感じられるため、SDGs と同様にバックキャストの考え方のもと目標を設定した方がよいと考える。

回答 バックキャストの考え方による設定について検討する。

意見	現状の資料では、杉戸らしさというものを全く感じられなかった。
質問	第 5 章以降のデータはいつ頃提供する予定なのか。スケジュールを見ると早めに提供してもらえないと間に合わないのではないか。
回答	次回の審議会において全体の素案を提供できるよう作業を進めていく。
意見	杉戸らしさについて考えるのであれば、農業問題についてもっと記載方法方がよいのではないか。例えば、農作物のブランディングやそれを達成するための目標を盛り込んだ内容としていく必要があると考える。
意見	杉戸の水田や屋敷林が残っている風景は世界的に見ても魅力的なものであり、江戸時代の歴史が残る場所や南側用水路などがありますので、そういった水田と用水路による風景の保全といったことを計画に落とし込まないとなんの意味もないと感じた。
意見	SDGs のように大きな目標を掲げるのではなく、川の掃除をするといったような目の前の細かい問題を解決していくことが、長期的にみると杉戸のためになるのではないかと感じた。
質問	第 2 次環境基本計画は 2032 年度までとなっているが、1 期、2 期というように区分けをして進めていくのか。
回答	5 年ごとに前期、後期と分けて進めていくことを想定している。

意見	推進体制については、今後の資料で示されることになっているが、縦割りの体制では、取組を進めていくことが難しいように思えるため、第４章の取組を有機的につなげるような体制を打ち出していく必要があると考える。
意見	農業があることを前提としたまちづくりを行うのであれば、町の問題として就労者が減ってしまうということを踏まえたうえで、どこを重点的に実施していくのかという課を越えた検討を行ってもよいのではないかと考える。
意見	現行の計画は２０年の計画として取組を進めてきたが、目標を達成できていない部分もあるため、なぜ目標が達成できなかったかを明確にしていく必要があると考える。そこで、ネックになってきているのは縦割りの体制によるもので、実施内容も担当課に任せているためではないかと考えているため、環境をベースとして、環境課が担当課にどのようなこと実施して欲しいか要望をしていく必要があると考える。
意見	環境を優先して取組を進めていく必要があると考える。
意見	現行の計画では、他自治体にはない、食料・農業・農村を含めた１０の課題をあげていたが、この素案では５つの課題となっており、これでは杉戸町について語れないのではないかと考える。
意見	豊かな水や緑は農家の取組によって、得られているものであるため、農家を支援していかなくてはということをみんなが思うようにしていく必要があると考える。
意見	第１章の各主体の役割が記載されており、町の計画に協力してくださいというような記載内容になっているため、住民・事業者が町の従属物であるように捉えられるので、住民が自分自身で学び、取り組んで

いくことを支援していかないと長続きしていかないのではないかと考える。

意見 今回のような短い会議や、意見書の提出だけでは、よい計画にはならないと思うので、今後は WEB 会議など、しっかりとした議論が出来るような方法で実施してもらいたい。